

人口

(7月1日現在)

世帯数 21,539(+ 18)
 現在人口 99,888(+ 106)
 男 47,503(+ 80)
 女 52,385(+ 106)
 出生 183 死亡 74
 転入 331 転出 334
 婚姻 76 離婚 8

会津若松

123号

昭和36年7月10日発行

発行所 会津若松市

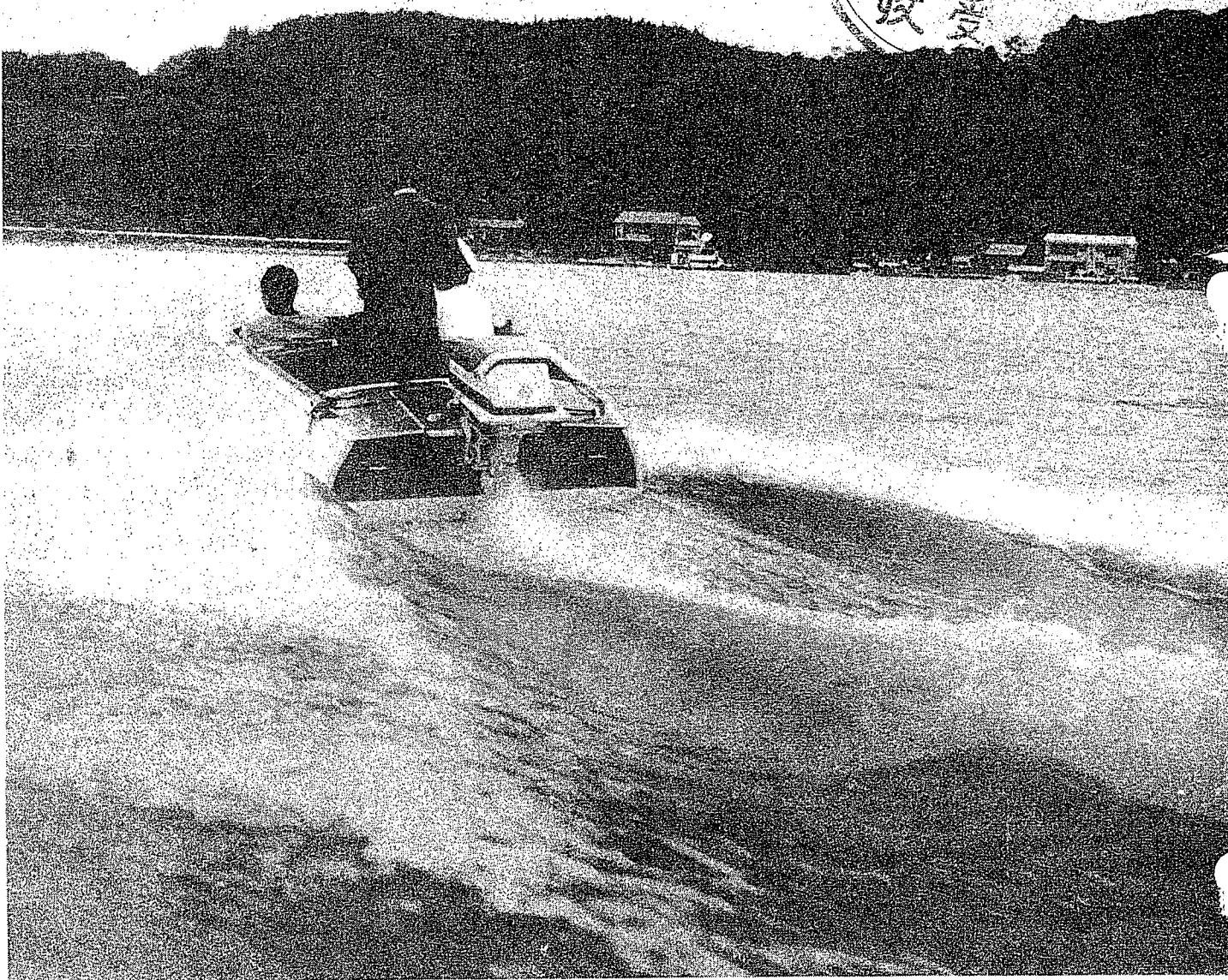
行人 桜木 幸次

郵便局 駒広邦

係 定価 5円

昭和26年7月6日第三種郵便物認可

市政だより

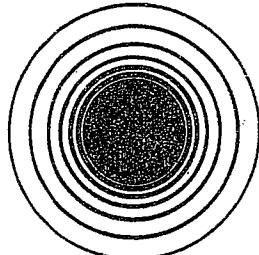


○毎月号を綴りておきましょう○

七月のメモ

奏でています	美しいメロディーを	山の色	湖の色	夏：すばらしい
美しい	メロディー	が調和して	が調和して	：：：
爽かな	：：	きびしいけれど	きびしいけれど	

- 7月11～15日 午前9時～午後3時 計量器定期検査 日新小学校
- 17日 知事選挙告示
- 7～16日 結核健康診断 大戸支所管内
- 17～20日 午前9時～午後3時 計量器定期検査 城西小学校
- 22～23日 第7回県高体連水泳競技会兼選手権大会 市営プール
- 23日 午後2時 学習院大飯坂教授講演会 公民館三階
- 23日 午後6時～10時 会津演劇研究発表会 市民会館
- 23～27日 夏期社会大学 謙教小学校
- 24～29日 午前9時～午後4時 農地相談
- 24日 湿支所、25日 大戸支所、26日 門田出張所、27日 東山出張所、28日 神指出張所、29日 高野町北出張所、青少年親善野球大会地区予選 市内13地区
- 26～29日 第11回会津総合体育大会水泳競技会 市営プール
- 31日 午前9時～午後4時 農地相談 一箕出張所 旧市



学校施設の整備進む

商工農政面の拡充も

六月定例会は、六月八日から十四日までの六日間にわたって開かれ、提出された議案は、追加更正予算ほか一八件で請願は一件でした。

城北小、大戸小改築決る

校舎が老朽のため、多年改築を希望されていた城北、大戸小学校が改築されます。城北小学校事業費一、九九三万余円。鉄筋コンクリート造り。大戸小学校事業費一、三四六万余円。木造二階建、三三〇坪、一〇教室。

商工業近代化

設備に貸付金を

免除されまし

中元禮賀始まる

中小企業の振興を図るために、有畜農業振興策のひとつとして、中小工業近代化設備貸付金として、いままで乳牛を購入して二〇〇万円、中小商として貸付けていたものを、業近代化設備貸付金を一〇〇万円がそれぞれ予算化されました。ことしは初のことろみとして、役肉用牛一〇頭・種雌豚一〇頭を貸付けることに決り、購入費九〇万円が計上されました。

「有畜農業振興に役肉牛を」

旧軍人、軍属であった戦傷病者で、証明書及び乗車券引換証をお持ちの方は、国有鉄道、連絡船に乗車する場合は無賃でしたが、七月一日から一〇〇キロメートル以上旅行する場合、普通急行料金、準急行料金を支払わないで乗車できるようになりました。

中元融資始まる	九月一日以内
県信用保証協会では中元保証融資をやむとなっていますので、ご希望の方は、信用保証協会(市商工会議所内)に申し込み下さい。	1、金融機関の所定利率口、信用保証料は日歩厘。
一、申し込み期間 六月二十日から八月十日まで。	五、貸付金額 一、申し込み人について五 十万円以内。
(千手院) 千手観世音 千石町	縁日 七月二十三日

ご存知ですか

あなたが市民としての資格をうるただひとつ
の基本となる重要な登録—それが「住民登録」
です。この住民登録は昭和27年7月1日に誕
生し、ことしで9年になりますが、この中には
市民一人一人の住所家族などが記入されていま
す。出生、死亡、婚姻、転入、転出などによつ
てつねに新しく正確に整備しておきます。

これらの内容は、主食配給、就職、進学、登記、年金、選挙、印鑑届などの必要が生じたときの証明する基礎とするものです。

他の市町村や外地から移入の場合、今まで住所がさだまつていなかつた人は、もちろん市内の引越しや、移転のときも、14日以内に届をださなければなりません。また世帯主が変わつたときも同様に手続きが必要です。

市政だよりの時間
毎週火曜日午前

時五〇分

福祉都市の整備を

謙井み

か、なんとなくじめじめして、かび臭い。どの室も入口の反対側に窓一つの縦長い一室でとなりとのつぶは板で仕切られ、そこに家族も品物もみな同居していく隣の話声も、ラジオも聞えるのです。それに老人の一人世帯がかなり多い。養老園を思ひ出して、齊長さんにうかがつたら「養老園に行くのはおばすて山に捨てるやうだ」といつて納得しないそうです。「いつも車にのせて養老園見学につれてゆくつもりだ」と齊長さんがいつておられたが、同感です。この環境に生活することもは気の毒な気がします。せつかくこども会でよく育成しても、こうした家庭環境でこどもはたちはあまりにかわいそうです。けれどもつきつまと新らしい面が打ち出している。本市の市政は、この鶴ヶ丘一帯にもスポットをあて、戦後十六年をへた今日、五ヶ年計画で新らしい文化住宅の団地としていまつくり替えています。この九号館もやがて明るい住宅となつてこの人たちを迎えてくれる日も遠いことではないでしょう。そしてさらに非常に嬉しく感じたことは、とにかくに広大な遊園地があること、事務所に児童文庫の備えがあつて自由に閲覧できることは、こどもたちにとつて何よりも幸運といえましょう。

